

2021年11月13日(土)

関東学生アメリカンフットボール連盟広報誌

INTERCEPT

〈TODAY'S GAME〉

1部リーグTOP8 第3節

14:30K. O.

立教大学-日本大学

発行部 一般社団法人関東学生アメリカンフットボール連盟
編集部 関東学生アメリカンフットボール連盟 広報
監修 関根恒

〒182-0032

東京都調布市西町 376-3 味の素スタジアム内

1部TOP8 Aブロック

	早稲田	明治大	東京大	桜美林	勝点	勝-負
早稲田大学	-		34○14	17○5	6	2-0
明治大学		-	35○13	34○14	6	2-0
東京大学	14●34	13●35	-		0	0-2
桜美林大学	5●17	14●34		-	0	0-2

1部TOP8 Bブロック

	法政大	中央大	立教大	日本大	勝点	勝-負
法政大学	-		35○14	35○28	6	2-0
中央大学		-	35○15	38○13	6	2-0
立教大学	14●35	15●35	-		0	0-2
日本大学	28●35	14●38		-	0	0-2

【立教大学】『粘り強さ』

次戦の相手は春に大敗を喫した日本大。この屈辱を晴らすため身体と頭ともに準備を万全にしてきた。泥臭く、得たチャンスは逃さず、笛が鳴るその瞬間までオフェンス、ディフェンス、キック全てにおいて粘り強いプレーにご期待下さい。

《期待の若手紹介》

1年 WR #16 木邨 陽(立教新座)・・・まるでボールが吸い込まれているかのように錯覚させるキャッチングセンス、体格が小さめながらも打ち勝つ球際の強さで1年生ながらビッグプレーを起こすだろう。

《注目選手》

3年 DB #7 河野 豪太郎(立教新座)・・・怪我に苦しまされながらも1年の時から圧倒的な存在感でディフェンスの要として活躍してきた。中央大戦で見せてくれたインターセプトを次戦でも見せてくれることだろう。

【日本大学】『戒心』

前節では中央大の鉄壁のディフェンスにより、思うように攻めることができず苦杯を舐める結果となった。あとがないPHOENIXに残された試合数もわずか。もう負けるわけにはいかない。立教大戦ではチーム一丸となって勝利する。

《期待の若手紹介》

1年 WR #82 小林 風雅(追手門学院)・・・1年生ながら春からスターターを取り、PHOENIXに貢献してきた。彼の独特のパフォーマンスに注目してほしい。

《注目選手》

4年 OL #75 藤岡 祐馬(立正大立正)・・・今年の課題であるOLをまとめ上げるのが彼、藤岡である。持ち前の明るさと練習に対する熱心な姿勢。他のOLからの信頼は計り知れない。そんな彼の試合での激しいプレーに注目してほしい。